

# 「成功への道」へ体を張って活動

## KSK通常総会



草刈理事長

関西分譲住宅任上業協  
同組合（KSK、草刈保  
廣理事長）は十三日、大  
阪市東淀川区の新大阪丸  
ビル新館で第四回通常総  
会を開催した。総会には  
会員ら二十八人が出席。  
平成二十五年度事業報  
告・決算報告、平成二十  
六年度事業報告・計算報  
告、工事受注に向けたチ  
ラシ配布についての第一  
号議案から第五号議案ま  
で、各議案を承認した。

冒頭、挨拶に立った草  
刈理事長は「KSKは、  
この一年で一応の着地点  
と出発点が見えた年でも  
あった。また、設立して  
から早いスピードで活動  
を上げたように思う」と  
語り、日本リノベーター  
協会（RMAJ）の岡廣樹  
正しい方向性に導こうと  
いうのが一致した意見  
で、今でも変わらない」  
と語った。



KSKの通常総会

一年間で十数回の会議  
と数十時間をかけ議論し  
て、①職長の見える化②  
雨がかりの仕事の悪化③  
全てにコンサル必要か  
の三点が明らかになった  
とし、「KSKはこの問  
題はクリア出来ていると  
思っている。建設業も様  
変わりし、明らかにス  
トックからリニューアル  
の時代に入った。突然職  
人が足らなくなった。地  
域のことは地域で、まち  
の大家さんに役に立つこ  
とを自ら作り上げていく  
ことが必要。背水の陣か  
もしれないが、『成功へ  
の道』が見えてきている。  
KSKは、皆さんの努力  
で作り上げてきたもの  
で、国土交通省の許可を  
得ている組合。今後も体  
を張って活動していく」  
と述べた。